



# 蛍光灯シーリング (天井付専用型)

ご使用になれる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。  
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。  
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

## 仕様

品番	適合ランプ	使用電圧
LF-3829	E26電球形蛍光ランプ EFA 13w以下X6	100V(±6%)
LF-3777	E26電球形蛍光ランプ EFA 13w以下X6	100V(±6%)

### この取扱説明書のマークについて。

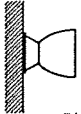
- 警告** 説明書中の 警告 は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- 注意** 説明書中の 注意 は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- このマークについている説明文は、必ず守ってください。
- このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

## 取り付け 取扱い上の注意

### 警告

- 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。  
★漏電や感電事故の原因となります。

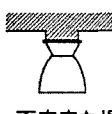
- 次のような場所には取り付けないでください。  
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。



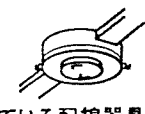
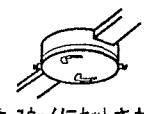
壁面



傾斜した場所



不安定な場所



ケース内にセットされている配線器具

- 補強材の無い場所への取付け。（ボックスに取り付ける場合を除く）。
- 石膏ボードなど弱い建材面への取付け。
- 樹脂製ボックスカバーへの取付け。  
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属性ボックスカバーに取り付けてください）。
- 凸凹のある面には取り付けないでください。
- サウナへの使用。  
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

- 器具を布などで覆わないでください。  
★過熱して、発煙や発火の原因となります。



- 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。  
★火災や感電事故の原因となります。



### 注意

- AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。  
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。
- この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。  
★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。  
★器具カバーの変形や火災の原因となります。
- 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。  
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないでください。  
★カバーの破損、落下の原因となります。
- 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。  
★調光器の故障の原因となります。

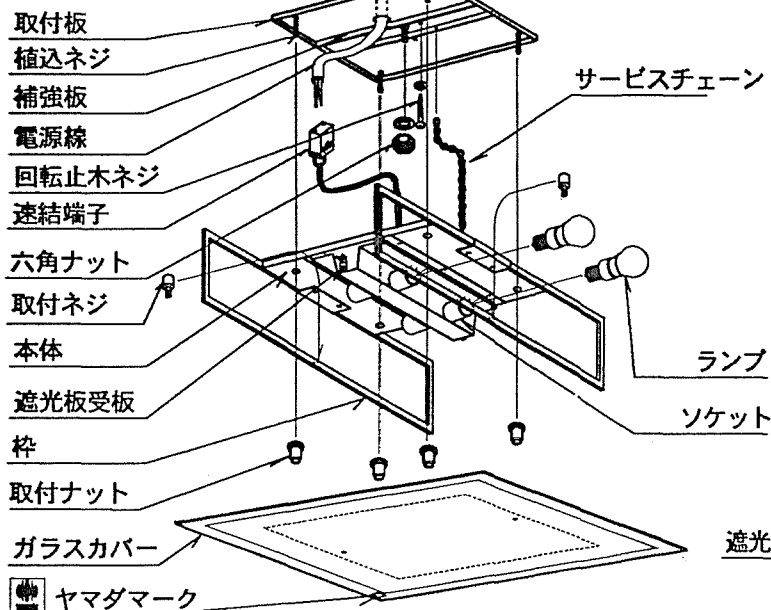


## 各部の名称

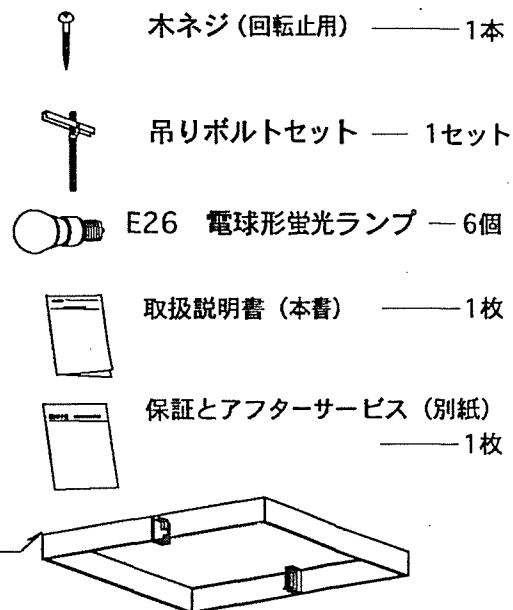
(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)

(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

### 器具構成図



### 付属品

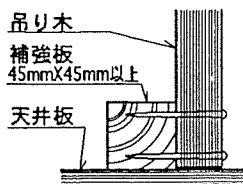


## 取り付け場所の確認

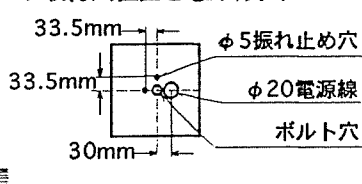
- この器具は、ボルトネジ止め専用です。  
器具の取り付けは、必ずボルトにて取り付けてください。  
★木ネジ等で取り付けた場合、器具が落下する恐れがあります。

### 警告

- 取付板は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。  
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。



### ◆取付穴位置と電源線位置



## 取り付け方



### 注意



必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- △ 警告 ● 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。  
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

- 吊りボルトセットをセットします。  
器具取り付け場所にボルトが施工されていない場合には  
付属の吊りボルトセットをご使用ください。  
(すでにボルトが施工されている場合は不用です。)

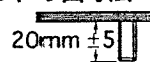
### 注意

- 付属の吊りボルトセットは、補強材(45mm x 45mmの野縁吊り木)のある位置にセットしてください。

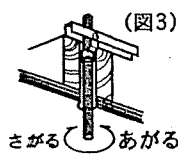
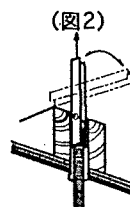
★補強材が無いと器具の落下事故の原因となります。  
付属の吊りボルトセットが使用できる天井材厚は、  
補強材を含め45mm~100mmです。

- ①吊りボルトをセットする位置にφ15の穴をあけます。
- ②ボルトの出し寸法に合わせおおよその長さを調節します。(図1)
- ③回転金具を立て、天井内に挿入します。(図2)
- ④回転金具を天井裏に引っ掛けます。(図3)
- ⑤ボルトの出し寸法を20mmぐらいに調節します。(図4)

### ◆ボルトの出寸法(図4)



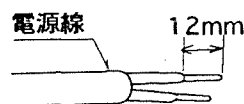
出し寸法を短くするには、右に回す  
出し寸法を長くするには、左に回す



- 器具を取り付ける前に。  
枠から取付ネジ(2個)をはずし、取付ナット(4個)をはずして、本体から取付板を取りはずしてください。
- 端子に差し込むケーブルは、必ずVVFφ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。  
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災、感電事故の原因となります。

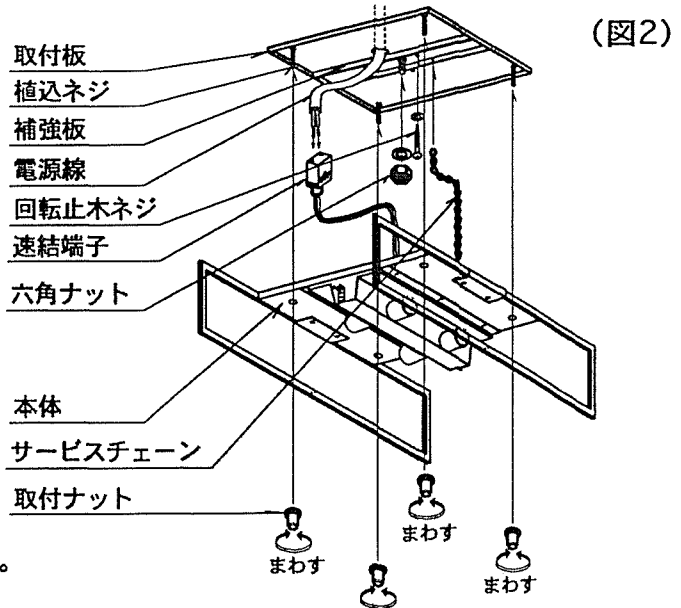
### 1. 電源線の被覆を剥ぎます。(図1)

- ①電源線の外側の被覆を剥ぎます。
- ②電源線の被覆を端子背面のストリップゲージ(12mm)に合わせて剥ぎます。



## 2. 取付板を取り付けます。(図2)

- ①電源線を電源穴より器具内に差し込みます。
- ②天井に施工されているボルトを取付板のボルト穴に合わせいれます。
- ③ボルトにワッシャーを通し六角ナットで締めて固定します。  
★必ずワッシャーを挟んで固定してください。
- ④付属の回転止用木ネジをねじ込み固定します。
- ⑤本体に付いているサービスチェーンを補強板の穴に引っ掛け本体を吊り下げます。



## 3. 電源線を接続します。(図2)

速結端子に電源線を差し込みます。

## 4. 本体を取り付けます。(図2)

取付板の植込ねじに合わせ入れ込み固定します。  
取付ナット(4個)で締め込み固定します。

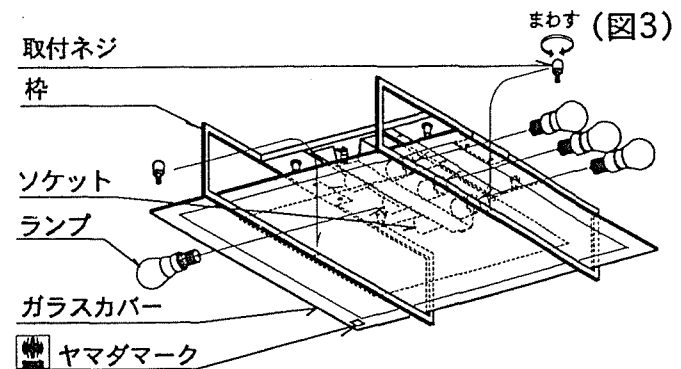
## 5. ガラスカバーを取り付けます。(図3)

## △注意

★カバーはガラス製で重量も有ります。  
取り付け作業は、なるべく2人で  
行うようにしてください。

★指紋が付きやすいのでゴム手袋などを  
ご使用ください。

ヤマダマークが付いている方を下にして、  
ガラスカバーを両手でささえ、枠にのせ  
取付ネジ(2本)で締め込みます。



## △注意

○カバー-取付ねじは、必要以上に締め込ま  
ないでください。

★カバーが割れる恐れがあります。

●カバーにヒビが入っていたり、  
一部が欠けている場合には、ただちに新  
しいカバーと交換してください。

★カバーの破損、落下の原因となります。

## 6. ランプをセットします。(図3)

ランプをソケットに合わせてねじ込みます。

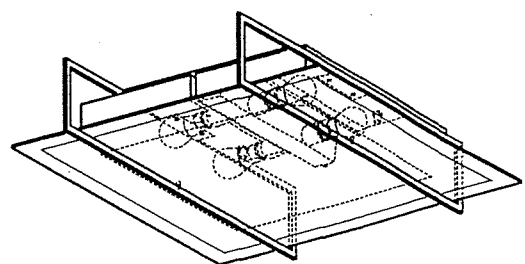
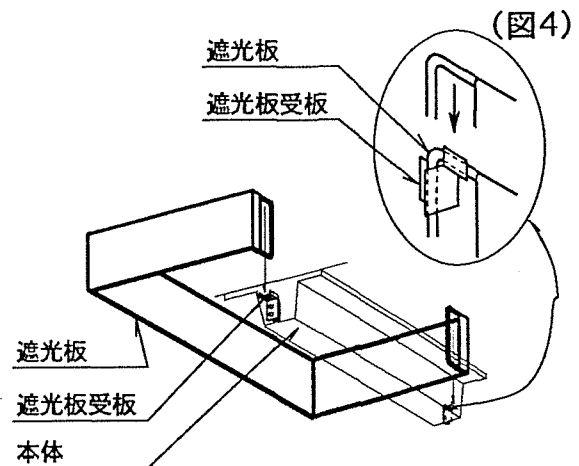
## △注意

○ランプは乱暴に扱わないでください。

★ランプが割れてケガをする恐れがあります。

## 7. 遮光板を取り付けます。(図4)

- ①遮光板をランプ側から遮光板受け板に  
当たるまで差し込みます。
- ②遮光板の上棒が遮光板受け板に  
乗るように落とし込みます。  
\* 遮光板受け板にしっかりセットされたことを  
確認してください。
- ③同様にしてもう片方の遮光板も取り付けます。



## ● スイッチ操作

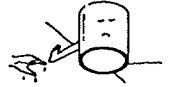
壁スイッチにて ON-OFF 操作を行います。

## ● お手入れについて ⚠ 注意 ⚠ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

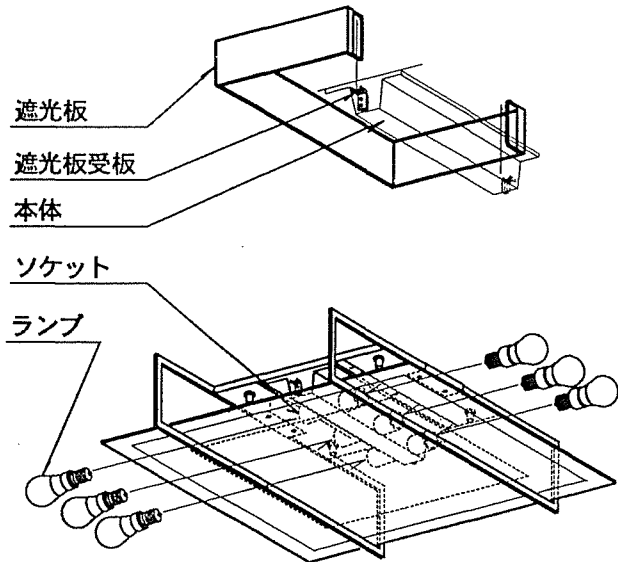
- こまめに清掃：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

## ⚠ 注意

- ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。  
★火災や感電事故の原因となります。
- スイッチを切った直後の電球は熱くなっています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- ランプは乱暴に扱わないでください。★ランプが割れて怪我をする恐れがあります。
- 適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しいランプをご使用ください。  
★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。  
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。



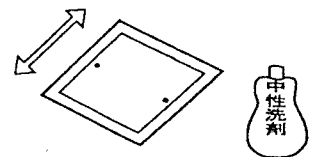
## ■ ランプの交換



- 1 スイッチを切ります。  
⚠ 注意 ランプ交換時、ぬれた手でさわらないでください。  
★感電事故の原因となります。
- 2 遮光板を外します。
  - ① 枠側から両手を差し込み遮光板を上へ持ち上げます。
  - ② ゆっくりと外へ引き出し外します。
  - ③ 同様にしてもう片方の遮光板も外します。
- 3 ランプを交換します。  
⚠ 注意 ランプは乱暴に扱わないでください。  
★ランプ割れ等の事故の原因となります。
- 4 遮光板を取り付けます。  
( 取り付け方 の「7」をご参照ください。 )

## ■ お手入れのしかたについて

- ⚠ 注意 ⚠ この器具は表面に飛散防止フィルムがはってあります。
- 乾拭きはしないでください。
  - クレンザー、硬い布、紙など、フィルム面を傷つける恐れのあるものは使用しないでください。
  - 図の矢印方向へ向かって拭いてください。★いずれの場合もフィルムのはがれの原因となります。
- ① スイッチを切ります。
  - ② 遮光板はずします。(ランプの交換の「2」をご参照ください。)
  - ③ 遮光板は軽くハタキをかけるか、柔らかいハケ、ブラシでほこり取り除きます。
  - ④ 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
  - ⑤ 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
  - ⑥ 遮光板を取り付けます。(取り付け方「7」をご参照ください。)



## ■ アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番(器具本体のラベルでご確認ください)故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。